



20歳を迎え、大人としてのスタート地点に立った皆さん、新たな目標や夢に向かって元気に歩いてください。

成人式の実行委員として協力してくれた皆さんが、同じ成人を迎えた仲間たちに贈った言葉(茶話会冊子より抜粋)を紹介します。

成人を迎えたみなさんへ

成人式実行委員会

吉井 武輝 (委員長)

成人おめでとうございます。
夢を見続けるのではなく、夢を目標の一つとして達成できるような努力をしてください！

浜岡 大地 (副委員長)

成人おめでとうございます。
社会に出てから多くの経験を積んで、ともにいい大人になりましょう。

大塚 大輔

時よ止まれ、おまえはいかにも美しい
(意識…これ以上年はとりたくないね)

地主 祥子

成人おめでとうございます。
田布施中学校を卒業して5年が経ちましたが、またみなさんと再会できて嬉しく思います。これからもみなさんが笑顔で日々を過ごせていけたらいいなと思います。

田中 真珠夏

成人おめでとうございます。
これからお互いに頑張りましょう！

天満 恭平

成人おめでとうございます。
これからの生活が皆さまにとって素敵な生活でありますように！

中川 碧惟

ご成人おめでとうございます。
すでに就職し社会に出られている人、進学し学を深めている人と、20歳を迎えられる立場は様々あると思います
が、大人になる節目の時として、良い思い出にしていただければ幸いです。

水野 香帆里

皆さん、成人式で中学校時代の友人に久しぶりに会うと思います。
思い出話に花を咲かせ、是非良い成人の日にして下さい。

森岡 駿太

成人おめでとうございます。
これからは、何事も成人という自覚を持って頑張ってください。

吉賀 智海

成人おめでとうございます。
今日の気持ちを忘れずに日々精進していきましょ。

私たちと人権シリーズ No.122

車椅子とエレベーター

人権教育推進協議会 副会長

平永 俊明

約20年前のことです。「車椅子とエレベーター」について書かれた新聞記事が目にとまりました。防府市にお住まいのSさんが、車椅子でカナダを訪問されたときの体験談が載っていました。エレベーターを待っているときの違いを日本と比べた内容でした。

福祉先進国カナダでは、車椅子に乗って、エレベーターの前で待っていると、ドアが開いたとき、「車椅子が、優先よ。」と、乗っている人全員がエレベーターを降り、車椅子を真っ先に乗り入れるようにするそうです。一度降りた人が再び乗れなくなってしまう、Sさんが「すみません。」と言うと、「私たちは、階段だって使えるから当然



のことよ。」との返事が返って来たようです。

日本では、同じような場面があるとき、エレベーターに乗っている人はチャラッと車椅子を見るだけで、誰も降りようとはしないそうです。何度も何度も、ドアの前で待たされることが多いようです。Sさんは、「車椅子に対する差別や偏見と闘わなければならぬ」と、締めくくっておられました。

わたしは、約10年前、防府市にお住まいのSさん宅を訪問しました。彼女は、骨形成不全症（生まれつきの骨粗鬆症）という病気があり、車椅子を使用しておられます。

彼女の新聞記事が掲載されてから十年が経過しており、「エレベーターを待たれているときの様子が変わりましたか。」と、たずねてみました。すると、彼女は困った表情になり、「もっとひどいときがあります。車椅子のスペースがあり、私が乗ろうとすると、私より後ろに並んでいた人達が先に乗り込み、再び乗れなくなります。」と。

「おもてなし」の国と言われていますが、これだけは違うようです。

祝 田布施町成人式

田布施町民憲章

豊かさと誇りを、愛と誠の心でつなぐ。心と魂の絆を、人と人の絆でつなぐ。心と魂の絆を、人と人の絆でつなぐ。

1 豊かさと誇りを、愛と誠の心でつなぐ。

2 心と魂の絆を、人と人の絆でつなぐ。



成人おめでとうございます！

それぞれの道を自分らしく歩んでいこう

ありがとう

現状に満足することなく、高みを
目指して頑張っていきましょう！

今を楽しもう！

これからも仲良く、互いに頑張ろう

田布施がスキ♡

自分に厳しく

初心を忘れない

自分のための人生、何でも楽しむ！！

様々な経験を重ね、自分という
人物を理解し、素敵な大人に！

(茶話会冊子より抜粋)